



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

# がんになっても いきいきと!

## 98 患者サロンでの活動

の感染拡大は年末年始で、1月下旬に多くなるのが予測されます。普段からの感染対策でピークを減らすことはできると思います。3度目のワクチンで感染が少なくなり、重症化も少なくなることは分かっているのですが、追加接種が重要ですね。後遺症などが分かっていないし、感染力がデルタ株よりかなり強いので、ワ

クチンを打っていない人は予防策の徹底が必須です。さて先日、和歌山医大の支援センターの方の協力で和歌山県がんサロネットワークのミーティングが開催されました。橋本、新宮まで広い地域の和歌山のがん患者さん、サポートをする会の皆さん、病院スタッフの方々が二十数人参加されました。大変有

意義な時間を過ごさせていただきまし。がん患者サロンとは、がん患者さんたちがお互いにお話ができる会のことです。が、コロナで開催できない、リモートで始めたなど、いろいろ報告されました。中でも、労災病院では徹底した感染対策で患者サロンが再開されていました。神戸大学の分院で感染

対策委員長を行ってきた私の意見では、和歌山はコロナ感染者が少ないので、予防策をしっかりすることで、患者サロンは開催できるのではと思います。が、病院側も不安が取れるのに時間がかかるのかなと思います。また、私が理事長をしているNPO法人いきいき和歌山がんサポートから、プレゼントしたケア帽子の

年続けてきたこの活動で、患者さん、家族が支えられ、喜んでいただけのこと聞いて、感動しました。僕はなんにもしていませんが、寄金を集めたり、講演や勉強会を開催したり、がん患者サ

お元気ですか? 寒くなってきましたね。でも、和歌山はありがたいことに晴れると暖かいですね。散歩など体を動かして血液循環を良くすると寒い日も過ごしよくなります。良い年末年始をお過ごしください。

今回はオミクロン株と患者サロンのお話をしたいと思います。

現在のオミクロン株の水際対策は、少しは効果があります。が、自宅待機なので自宅での感染、身近な人と会食で感染が始まってしまいます。入ってこないようになっているというよりは、少し第6波を遅くする対策なのだと思えます。次

お礼の言葉を、たくさんの方から頂きました。抗がん剤治療で脱毛したがん患者さんが、自宅で快適に過ごせるように、会員のみんなでタオルの帽子を作って、毎年年末に拠点病院に送っています。10

ンで活動できるピサポーターを育成したり、みんなが活をこれからも続けいけるように、まNPOの活動を頑りたいと思います。やっと和歌山にってきたような気がした一日でした。